

令和7年度さいたま市立慈恩寺小学校 第1回防犯ボランティア連絡会 会議録

1. 開会・校長挨拶

校長より、日頃の防犯活動への感謝とともに、児童の安全な登下校を支える地域の協力に対する謝辞が述べられた。着任から3か月が経過し、慈恩寺小学校周辺の落ち着いた環境が、地域の防犯活動の成果であると強調。今後も情報共有を通じて、地域全体で子どもたちを守る体制を強化していきたいとの意向が示された。

2. PTA 会長挨拶

PTA 会長より、児童の安全を見守るボランティアへの感謝が述べられた。事故なく登下校できているのは、地域の支えがあってこそであり、今後も引き続き協力をお願いしたいとのこと。

3. 自己紹介・情報交換

参加者全員が自己紹介を行い、それぞれの担当地区や活動内容を共有。以下のような意見・報告があった：

- 草むらでの不審者事案：4月に児童が草むらで手をつかまれる事件が発生。草刈りの実施と保護者への情報共有が行われた。
- 見守り活動の課題：最後の児童が誰か分からず、長時間待機するケースがある。学校側から「最後の児童」に声掛けをしていくことを伝えた。
- 交通安全の課題：一部地域で車のスピード超過や違法駐車が問題に。30km 制限の標識設置や、企業への通勤時間調整の要望が出された。
- 熱中症対策：暑い日の昼休みパトロールについて、事前に活動の有無を連絡できる仕組みが求められた。学校側から昼休みについては天候・気温で判断していただくことを伝えた。また、下校時刻の変更を伝えるために安心メールの登録をお願いした。
- 夜間駐車・通学路の安全確保：裏道でのスピード超過や夜間駐車が危険との指摘。警察や自治体との連携強化が必要とされた。
- ボランティア証の確認：名札やベストの着用が不審者と間違われられないためにも重要。未所持者には学校から再発行可能。
- 安心メールの登録推進：スマホを持たない方への対応として、自治体代表者を通じた連絡体制の整備が進められている。
- 地域ごとの課題共有：各地区での課題（犬のふん放置、企業車両の通行、夜間駐車など）について、具体的な対応策が話し合われた。
- 学校から「防犯ボランティアの募集」の手紙を配付する。

4. 岩槻警察署慈恩寺駐在所員より

-パトロールについて

-4月の不審者案件について

-速度超過、路上駐車の車への対応について →110番してくださいとのこと

-空き巣対策。室外機の盗難について

-特殊詐欺→増える一方、電話番号をよく見てほしい。高齢者には録音できる電話機がつけられるか

このように、今回の連絡会では、地域と学校が連携し、児童の安全を守るための具体的な課題と対策が多角的に議論されました。今後も継続的な情報共有と協力体制の強化が期待されます。